

## 【第2回（仮称）「平戸観光交流センター（レストハウス）」整備活用検討委員会会議概要】

### 1. 日 時

平成29年3月27日（月） 午後1時30分～午後3時45分

### 2. 場 所

平戸市未来創造館 1階ホール

### 3. 出席者

#### （1）委員

西岡 誠治（委員長）、山本 芳久、神田 全記、中田 洋、道添 直徳、フロライク レムコー、  
木村 孝市、前川 栄治、木寺 敏夫、古賀 義浩、門屋 多佐雄（代理出席）、小楠 一二三、  
小高 理恵 計13名

#### （2）行政

議会事務局…白石班長

（事務局）

文化観光部…松田部長 観光課…峯野課長、田中主任主事、奥村主任主事

まちづくり課…村井課長

### 4. 議事内容

#### 1. 開会

#### 2. 議題

##### （1）機能の整理を進めていくための確認事項について

##### ○委員長

- ・本日の会議では前回会議において事務局から皆様へお願いしていたアンケートに対する回答について、まとめ内容を事務局より説明する。また、機能の整理の考え方について併せて事務局より説明を行う。
- ・なお、今回、平戸観光協会よりも要望書が提出されており、この件についても事務局から説明いただき、皆様とご議論を深めていけたらと考えている。

##### □事務局

- ・会議資料①「機能整理を進めていくための確認事項」、参考資料①「平戸観光交流センター レストハウス 整備活用についての要望書」について説明。

##### ○委員長

- ・事務局からの説明が終わりまして、要望書の件については一旦、置かせていただき、それ以外の件で、事務局より機能整理を進めていくために、皆様からのご意見を集約していくための根幹にあたる将来

を見据えた課題等に対する整理をしてもらっているが、その方向性等について事務局の説明内容で問題がないか、質問、ご意見等はあるか。

○委員

- ・“なぜ多目的施設がなぜ必要なのか”という点について説明をさせていただくが、必要なのは“多目的”というよりも“多機能”。
- ・未来創造館のホールだが、色々と練習等をするときも14、5人程度しか十分なスペースがとれない。スクリーンも毎月2回映写会を行っているが、スクリーンの仕様上、三列目ぐらいから後ろは見え難く、いから既存の設備に対してもどうかしたほうがよいと我々は言っている。

○委員長

- ・具体的な機能のお話も十分わかるが、今、お願いしたいのは、先ほど事務局よりもあった、機能を詰めていく前提として、市の将来像等をこのように認識してスタートしてよいかという点で要点を絞ってお願いしたい。

○委員

- ・佐々町では医療介護等において病院にかかっていない高齢者についてはなるべく、家の外の施設で講座等を行ったりして1日過ごさせる仕組みに取り組んでおり、そのようにも機能をシフトしていれば、人口が減った時にも対応できる施設になるのではないかと思う。
- ・また、観光面で平戸市の“まちづくり”の場合、交流広場が市民と観光客の交流の場として埋め立てられて整備されている中で、平戸の“観光の拠点”というのは交流広場側にシフトされるべきであると私は考える。
- ・来年以降は世界遺産登録も予定されており、観光客や海外のお客さんもまずは交流広場の方へ行くとと思う。観光客が平戸に入ってまっすぐ、未来創造館側にくるとは思えない。

○委員

- ・機能整理を進めていくための確認事項ですが、私は基本的にこの内容で進めていって問題ないと思う。

○委員

- ・観光面でこのこと考えると、年間170万人の観光客が平戸に来ている中で、この観光客も今後減っていくと見たほうがよいのか。市民減少に対して、逆に観光客は上がっていく、あるいは横ばいなのか。

□事務局

- ・平戸大橋の通行量を踏まえても日帰り観光客は年々増加しており、現在においては横ばい状態と言えると思う。ただし、宿泊客については熊本地震等の影響もあり実際減っている。
- ・10年先の将来像はなかなかお答えするのは難しい部分もあるが、来年以降は世界遺産登録もあるので、観光客としては少しずつ伸びていくということを仮定して、事業を進めていく必要はあろうかと思う。

○委員

- ・先ほどの質問ですが、県全体で言いますと昨年は修学旅行で7万泊、県内宿泊者数は90万ほど減っている。要因は地震というのが一番大きかったが、ここ4～5年、長崎県全体で言うと右肩上がりの状況でこれは軍艦島の世界遺産登録の影響だったと思われる。(その反動での減。)
- ・これから、観光客がどのように推移していくのかという点は、平戸市も雲仙市もこれまで団体客が主だったものが、インバウンドも含めF I Tが増加していく中で、新しく整備するレストハウスについてもその辺りを考慮されて機能を検討されてはいかがかと思う。

○委員

- ・会議の内容と少し異なるかもしれないが、観光客から意見を伺うには、非常にアクセスが悪いということ。この前、東京の方とお話しをしたが、長崎空港、福岡までは来れるが、それからの平戸市までのアクセスがどのようにしたらこれなのか…鉄道の乗継関係もどのようにしたらよいか…とっても不便だったというお話だった。
- ・市のフェイスブックやネット関係でもっとアクセスについて発信していく必要があるのではないかと思う。

○委員

- ・これから人口が減っていくというのは揺ぎ無い事実ではあるが、そればかり前面に推すのではなくて、それを食い止めるために市民の皆さんの満足度を上げると言いますか、アクセスを向上させる考え方があってもよいのではないかと思う。

○委員長

- ・人口が減るのは当たり前。でもそれをどうやって食い止めていくのか…

○委員

- ・だからこそ、今いる市民の満足度を上げることが大切だと思う。

○委員

- ・人口減少は全国的なもので、世界的にも中国やインド以外は同じようなもの。
- ・特に生産者も減少していく。生産者を外から呼んで、観光においても平戸の魅力を訴えて、観光面における生産性を増やす…つまり、そうすることで生産年齢層を増やすこともできると思う。
- ・生産年齢層が市内に残って生産していくために必要な平戸の魅力づくりを追求していく必要があると私は考える。

○委員

- ・先ほど、非常に平戸に来難いという話があったが、そのためにも私たちは西九州自動車道の早期着工をお願いしており、平成30年には松浦側が完全に供用開始になり、逆に福岡方面からのお客さんは

来やすくなるものと思われる。平戸側にも平戸専用のインターが予定されているので、平戸に対する観光客増加も期待している。

#### ○委員

- ・つまり、“良いところ”であれば必ずお客さんは来てくれるものだと私は思う。まずは平戸を魅力的な場所だと知ってもらう必要があり、仮にアクセスが良くてもお客さんは来ないと思う。ですから、“この施設を観光客の施設として考える”だけで、観光客が増えるかどうかというのは、私はそうではないと思う。
- ・ただし、この施設により、“平戸ってこんなにいいところなんだ”、“住んでみたい”と少しでも平戸のライフスタイルを見せることができれば、体験することができれば、より平戸の良さが観光客に伝わるのでは。
- ・子育てや学生の面においても、“このライフスタイルで将来このようなイメージが持てる”というかたちにもっていければ将来平戸で働いていきたいと思う若者にも良い効果が期待される。

#### ○委員

- ・世界遺産登録を見据えるのであれば、レストハウスの改築、新築においても根本にこの件を添える必要があるのではないかと私は思う。その他の確認事項の項目についての異議はない。

#### ○委員長

- ・ある程度全委員からのご意見は出たところだが、議会としてはいかがか。

#### ○議会選出委員

- ・個人的な意見もいいか。“人口減少”これは必ず抑えておかなければならないだろうと思う。何らかの対策という点では、交流人口拡大ということを念頭に置くと、世界遺産登録による観光客増や、西九州道の全面開通は何年になるかわからないが、少なからず交流人口は増えていく方向で考えられ、そういった点でも交流人口の拠点施設ということが大きな意味を持つてくるのだらうと思われる。

#### ○議会選出委員

- ・一番は将来の平戸を支える若者に負担をかけないものにしつつ、観光事業をいかに伸ばすか、といったことをしっかりと考えていきながら…成り立った施設であってほしいと思う。

#### ○委員長

- ・方向性としてこの確認事項を踏まえるといったところは問題ないようだ。
- ・平戸のライフスタイルを提案できるような施設でもというお話があり、一つの機能の意見としてお伺いした。
- ・本日は観光協会の代表者の方は見えていないが、地元の観光を支えて、しかも現在レストハウスを使っている団体としてご意見が出されているわけで、意見は十分尊重すべきであるとは思いますが、あくまで一つの団体の意見ということで委員会は取り扱いたいと思う。

- ・委員の皆様から具体的に委員会でのこの件の取扱いについてご意見はあるか。

○委員

- ・1年半前に未来創造館が出来てから、レストハウスでなく、未来創造館にくる観光客は相当なものだと思う。来られた方から言われるのは、“喫茶店はないですか”“トイレを貸してください”といったもの。
- ・どうしてレストハウスに行かないのかというと、室内も暗そうで入っていいのか迷っている。観光客はトイレをレストハウスではなく、未来創造館に借りにきている。
- ・お客さんが入りやすい入口の施設に変えれば、少しは利用者が増えるかと思うが、しかしながら、先ほども言ったが、拠点施設というのは目的をしっかりと集散的に整備しないと意味をなさない。観光面においては崎方、浦の町をもう少し整備することが観光客増に繋がるものではなかろうかと思う。

○委員

- ・この要望書を読ませてもらって、一つ目の平戸観光協会事務所存続が挙げられているが、機能として事務所をここに置くというのは疑問。2つ目の観光案内やちょっとした売店はあった方がいいのかなという印象。
- ・“事務所”ということでここに置かせてほしいというのはちょっと違うんじゃないかというのが私の意見であるのと、情報の発信拠点という点では、観光客が平戸に入ってからではなく、大橋を渡る前に観光情報を得られるように、または入ってすぐわかりやすいところがないといけない。したがって、2つ目の件はなんとなく理解はできるが、一つ目はどうかと思う。

○委員

- ・この話はある程度片づけておかないと、施設の機能の部分でスペースも含めて問題が出てくるのではないかと考えている。ある程度順序立てて問題解決しないと、施設の規模も決まらない。

○委員

- ・関連して事務局に質問だが、仮に観光協会が外に出るような話になる際に、このレストハウスの整備を同じ事業の枠の中でできるものなのか確認させてもらってよいか。

□事務局

- ・事務局としても検討の進み具合によっては、そういった協会移転の選択肢も出てくるかと予想はしているが、この事業の中でどういう取扱いができるのかということについては内部でも整理できていないため、今後の議論の進捗を見ながら検討していくものと現時点では認識している。
- ・資料のとおり皆様に観光協会の要望を確認いただいている中で、事務所の存続や観光案内、売店の必要性が挙げられているが、実際に本当に今のレストハウスの場所に事務所が必要なのか、あるいは今の案内・売店スペースを本当に確保しなければならないのか、要望書だけではわからないので、事務局としては先ほど委員も言われたとおり、この委員会におけるこの案件の一定の整理が必要であることから、次回にでも実際に観光協会に委員会に出席いただき具体的な内容や、各委員も疑問に思われ

ている観光協会が考える将来の展望等についても話が聞ける場を設けてはどうかと考えている。この点についても委員のご意見を併せてお伺いしたい。

○委員長

- ・今回は機能の整理という点を優先させて、要望書については次回以降で必要であれば当事者である観光協会に来ていただき意見したほうが話がすっきりするのではという事務局の考え方だがどうか。

○委員

- ・それでいい。

(他委員も賛同の声)

○委員長

- ・皆様よろしいようなのでこの観光協会の件はそのようにさせていただく。

**(2) 必要となる機能の列挙について**

○事務局

- ・会議資料②「必要となる機能等に関する委員意見要点」、参考資料②「(仮称)「平戸観光交流センター(レストハウス)」の機能検討シート提出情報」、参考資料③「(仮称「平戸観光交流センター(レストハウス)」の機能検討」について説明。

○委員長

- ・事務局が皆様の意見を代弁したり、加工したりしているも部分もあったかと思うが、違和感があったものや、他の委員の意見でもっと聞いておきたい部分があったらご意見を願います。

○委員

- ・皆さん、機能の玉だしで良いことを書かれていると思う。しかしながら、この機能を全て入れるとなると、大きな体育館の規模になってしまう。これを整理していくのは本当に大変な作業だと思う。
- ・今の施設では地下空間に使われていない空間がある。スキップフロアである以上、既存施設をそのまま活かして使うとなるとエレベーターを設置するなどしないと使いようがない。
- ・それよりも、一旦施設を解体し平地にして、トイレなども施設の中に入れ込んだかたちにして、既設地下に電気設備や機械設備なども入れてしまい、エレベーターを使わないかたちにしてしまえば、事業費を抑えた複合施設が出来ると思われる。

○委員

- ・やはり1つ心配なのは予算の面。市民としては用意している予算より膨らまないでほしいと思っているはずであるし、むしろ委員会ではこの施設は必要と議論になっているが、本当に必要なのかと思う市民もいるはずなので、あまり機能等を欲張りすぎず、機能整理が進んでいけたらと思う。

○委員

- ・予算の件だが、未来創造館を造るときも予算枠が限られていたから、今のホールもこのような状況になっている。
- ・“最低限、機能としてこれだけはありますよ”というところにしっかりお金をかけて、3億かかろうが5億かかろうがきちんと整備をやっていくべき。
- ・新築か改修かを考えるときに、既存施設を見てみたが、腐食していてそのまま使える設備というのはほとんどない。
- ・お金の固執して規模や機能を縮小すると、逆にまた将来お金がかかることになる。

○委員

- ・資料②を見るとある程度意見が集約されているのではと思う。この中から機能をピックアップして、市の予算あるいは市民の要望する範囲内でどれが可能なのか検討してはどうか。

○委員

- ・資料に機能に関する意見は集約されていると思う。しかし、これだけ機能が集約されると、今後はレストハウスを使う人が大分増えると思う。そうした時に、ただでさえ満車の駐車場がパンクすると思う。これだけいい機能が入ればなおさら。
- ・建物の規模を少し小さくして駐車スペースを少しでも確保することも考えていかなければいけない。

○委員

- ・城へのアクセスは一方通行（大手の坂〜）を使っているが、未来創造館前の駐車場が満車の時に車は戻りしかないので、車の進行方向を看板等で亀岡神社側駐車場、未来創造館の駐車場へと誘導できないものか。

□事務局

- ・現実としてなっていないのは公安との兼ね合いなどもあるのではないかと。また、幅員が狭いため叶わなかったというのもあるかもしれない。これまでの検討の中でできなかったということは何かしら障害、問題があるのだと思う。次回会議にお答えしたいので調べる時間をほしい。

○委員

- ・確かセンターラインが引けて、車が離合できる状況が確保できれば可能とのことだが、ここは都市公園のため、国土交通省の許可がいる。今は変更が効くか、条件が変わっているかどうか分からないが、過去にはそういう理由から一方通行となっている。

○委員

- ・私が提案したのは、道を広くするのではなくて、一方通行の逆回りができないかということ。
- ・そうすれば、車の流れも良くなると思う。今回のようにレストハウスの立場が変わればそういった導

線も変えていくいい機会になると思う。まずは観光客が観光交通ターミナルに行って、その次にレストハウスに行く流れだと動きがスムーズでよい。

○委員長

- ・この件について今回は深く掘り下げず、事務局の宿題ということにしたい。

(3) 機能の意見集約・整理方法の考え方について

□事務局

- ・会議資料③「機能の意見集約・整理について」、参考資料④「福岡大学 柴田久教授の記事」を説明。
- ・併せて機能ニーズ調査の実施について提案。

○委員長

- ・事務局から提案があったとおり、私の知人でもある柴田先生の記事を事務局に参考までに送ったところ、実際に事務局が柴田先生にお会いしている。
- ・このNHKの「N」については、以前委員が発言されていた“観光と日々の市民生活は別ではない”という、日常生活で市民に愛されているものが観光客がより来やすい魅力要因になるということ。
- ・そして波及性をもって、いろんな影響がある中で“プラス”の部分を大きくするアプローチが必要。
- ・また、将来性については、市が抱えている人口減少や観光誘客といった様々な将来像のビジョンをきちんと踏まえた施設にする必要があるといった「N・H・K」をしっかりと見据えた新しい公共施設の整備を進めていくべきではないかということ。
- ・将来、新しいレストハウスを使うであろう皆様に対し、本当に必要性があるのか、柴田先生よりアンケート調査（データ収集）の必要性も指摘されている。
- ・そのようなことも含めて委員の皆様のご意見をお願いしたい。

○委員

- ・アンケートに関して、後3回ぐらいは会議が開催されるだろうが、時間的な余裕は大丈夫なのか。

□事務局

- ・アンケートは不特定多数の方に対する全数調査はしない。未来創造館、文化センター、平戸城などの訪問者に絞って、サンプル調査をしようと考えている。そうでないと時間的にもできないし、逆にしないとよい整理もできないと思う。次回会議までに結果を集約できればと思う。

○委員長

- ・時間も踏まえつつ、効率的にやっていくということだったがどうか。他に意見はないか。

○委員

- ・非常に難しい問題が多々あるかと思う。観光や市民といった施設を使われる方…考えれば観光客も住まいに戻れば市民に戻る。例えばオープンスペースで市民がくつろがれ、そこに観光客も自然に溶

- け込んで…ないかもしれないが平戸バーガーを食べて…とできれば、地産のものがあれば素敵だなと。
- 資料に挙がっている、全ての機能だと、立地上、施設として整備するのは無理だろうと思う。

#### ○委員

- 波及性の部分。レストハウスからの商店街への回遊は難しいものがあるとの話だったが、平戸の新鮮な魚を食べたいという人が多いので、魚専門のお店と言うか、そのようなものを観光の目玉にすれば回遊もできるのではないかと私は考える。鮮魚提携など、それらを観光協会がやるということはどうか。

#### ○委員

- NHKの考え方と言うと、食堂をどなたが入るのかというのも心配。かなり接客業の部分ではクレームが多いのもわかっている。売店で平戸のハンバーガー作っている方もいるし、商店街からも弁当を限定10ずつ出すといった、商店街と連携した出店を行い、お客さんに気に入られれば、継続して出すといった私は「売店」というかたちでもっていきたい。

#### ○委員

- レストランに食べにきてもらうのは勿論、こちらの思いどおりにいかないと思うし、観光客の皆さんというより図書館に来ている小中高校生が気軽に食べられるものを提供すべき。
- 観光客の皆様には商店街にはおいしいお店をありますからなるべくそちらでお金をおとしてもらいたいと思う。

#### ○委員長

- 観光客向けのレストラン的なものは既存の商店街店舗で十分であり、ここには、学生に喜ばれるようなものが良いのではという意見。

#### ○委員

- レストハウスの観光の機能の面については、もう少し検討が必要かと考えている。
- 観光協会の事務所をここに置くべきなのかという話もあるが、平戸に観光客が入ってきて、どういふルートで観光してほしいのか、“戦略”…観光課、観光協会としてそういったものを提案してもらえたら、レストハウスの位置づけが見えてくるのではないか。この部分は委員会で細かく議論するというより、観光課の課題。
- 維持費が現在250万円ということだが、建物の完成前に、維持費をきちんと整理する必要がある。
- 個人的には観光協会の事務所がここにある必要性はないと思う。
- 市役所が今後どのように維持費を捻出するかは課題であるし、カフェの運営の仕方も気になる。これは大きな課題だと感じていて、チャレンジする店舗が入ることは賛成。例えば、地域おこし協力隊など、カフェを経営するために期間的に店舗、人を募集して、やる気がある人に平戸にきてもらうなど、やり方はあると思うが、そうしても継続性という観点では課題が残っている。

○委員長

- ・先ほど委員からも必ずしも観光協会事務所はここになくてもよいのではという意見だったが、次回会議に観光協会を委員会に呼ぶか呼ばないかということにも関係しているので、他の委員からもご意見を願います。

○委員

- ・ぜひ観光協会の意見は聞くべきだと思う。レストハウスにあるべきかどうかは別にして、過去、今までレストハウスで観光協会がやられていて、非常に熱心に仕事をされている。
- ・確かに情報発信はここでなくてもどこでもできる。ただし、この施設が新しく整備された時に来られた方に対する対応は一人になるのか二人になるかわからないが、観光協会であるべきだと私は思う。
- ・平戸のお土産をお客さんは買いたい。ここに観光客が来たとき、何もなければ“ここは何もないよね”というイメージになってしまう。勿論、たくさんは要らない。
- ・現在の使用料が約 100 万円という話もあったが、それが高いのか安いのか…月にしたら 10 万円ぐらいで今の観光協会の人数が勤められるのだから、彼らからしてみればコスト的にも成立していると私は見れる。

○委員

- ・観光協会の要望書は平戸市長宛に出されているものなので、私はこの委員会で議論するのがどうか疑問だが、まず、この要望書を整理しないと施設のスペースの問題もあるので、この委員会としても協会の意見の中身を詳しく聞く必要があると思う。
- ・これが整理できないと、なかなか今後の議論が厳しいものがある。ぜひ観光協会のご意見を伺いたい。

(異議なしという声あり)

○委員

- ・観光協会もそうだが、市が今後観光戦略をどうするのかということで、今後の方向性は変わってくる。
- ・世界遺産などもあり、今後お客さんが来るかも知れないが、そんないきなり多くはこないのだから、市の戦略について次回は説明をしてもらいたい。
- ・何も観光協会の居場所をなくすと言っているわけではない。現にいるわけだから話の内容次第により委員の意見もたくさん出てくると思う。したがって、今後の戦略をじっくり聞いてから判断したい。

○委員長

- ・本日は皆様の意見を事務局がこのようにまとめて、今後どのように優先順位を決めて機能の集約、整理を図っていくかという点についても福岡大学の柴田先生の意見を採用された部分についても異論はなかったと思う。
- ・また、観光協会からは将来にわたって事務所と売店などの原型補償を求める要望が挙がっているわけですが、これについては様々な意見が出た。次回委員会に観光協会にも来ていただいて要望書に基づく意見を聞くことについては、これで問題ないか。

(異議なしという声あり)

- ・ それでは事務局には、今回の委員会の決定について観光協会には伝えていただきたい。
- ・ 施設のあり方の方向性としては、委員皆様の基本的なご意見ではレストハウスを何らか施設的に改善していく際には、現在この周辺施設を使っておられる市民をはじめとする皆様の意向に即した機能でいくのが望ましいとの共通したご意見であったと思う。更にはそうした機能でいくことが、観光客を呼び込む魅力要素にも繋がっていくだろうということだった。
- ・ こういった基本的なことは、もう揺るがないものであると思うし、その延長線上で次回、観光協会の意見を聞き、あるいは周辺施設利用者のアンケート調査実施による次回会議の準備を事務局にお願いしたい。

#### □事務局

- ・ 委員長が最後まとめられたように委員の皆様の基本的な意向は同じですので、次回会議に向けて作業を進める。
- ・ また、市の観光戦略についても問われたので、次回会議では市としてきちんとお示しし、説明を果たしていきたいと思う。市は事務局という立場からこれまで、押し付け的なことにならないよう一方的なこちらの意見はお話ししていなかったが、次回以降は市としての考えを問われているので、段階、段階においては市としても意見を述べさせてもらおうと思う。

### 3. 閉会